

ダ 刊

いわき民報

高専説教正規に決まる

きょうう文部省で発表

さきの大蔵省は三十七年度算入国平素高等学校学徒校の建設を実現、このうち平市議会は既に確定といわれながらも、地元の陳情をバックし自民党内でも高専説教運動は予想以上に激しく、その成否が注目されていた。本

日平宣る
う学校に定員百二十人

激しい説教合戦の中で平市議会は、北総會五百六十四平方メートル、南選定した大きな理由は、もしかれば、校舎一西半分の金額一千三百六十坪、常磐地区、平市の三者が十九一千六百平方メートル、千九百平方メートル、一般体制で、地元選出議員の賛成を得、来年三月まで借り受けた。その後得た運動によるものだが、とくに平市の場合は、本年四月が、これまでの改修費、備品設備するなど総額四百一十八万八千円の予算を行ない、四月一日開校式事務室を設け。

三千七年度定員は百二十人

三千七年度定員は百二十人

これに三教科の國教科の四教科

萬全の体制である。

三十一年度定員は百二十人

これが、正規化により、眞理院の高専

が、とくに平市の場合、本年四月

が、

